

カワラサイコ

Potentilla chinensis Ser.
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地が限られ、個体数も少ない。

分 布

本州～九州に分布する。県内では嶺南地方、嶺北地方に分布する。

種の特徴

日当たりのよい川原や砂地に生育する多年生草本。茎は根元で多数分岐して広がる。葉は互生し、小葉は奇数羽状複葉。小葉は羽状に深裂し、裂片は狭い。小葉の間に付属小葉片がある。葉の裏面に白色の綿毛が密生する。茎の先に黄色の5弁花をつける。

生育を脅かす要因

海岸砂防工事、河川の護岸工事、堤防の草刈等により生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔 (1982b)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○	○		○					○		○				○

シロミノヤブヘビイチゴ

Potentilla indica (Andrews) Th. Wolf f. *albocaput* (Naruh.) H. Ohashi
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

近年新種として命名されたもので今のところ福井県にのみ発見されている。

分 布

福井県の嶺北地方

種の特徴

匍匐茎を出して地面を這って伸び、根を付けそれぞれの節にクラウンが生じる。葉は三出複葉、楕円形の小葉には細かい鋸歯があって深緑、しばしば冬の間持続される。黄色の花は春中頃に咲き、その後成長シーズンを通じて散発的に咲く。果実は白色。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事等の開発が生育を脅かす。

参考文献 若杉孝生 (1992)、鳴橋直弘 (1992)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	○

シロヤマブキ

Rhodotypos scandens (Thunb.) Makino
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

県内では1地点で確認されているだけで、生育地、個体数とも極めて少ない。

分 布

本州。県内では越前町で確認されている。

種の特徴

高さは1～2mの落葉低木。葉は茎に対生し、葉柄をもつ。葉の裏面は深緑色で裏面は淡緑色、絹毛がある。花期は4～5月で、径3～4cmの両性花を側枝の先端に一つずつ咲かせる。花弁は白色。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事等の開発、園芸採取が生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか (1988)、福井県植物研究会 (1999)、福井県樹木誌 (2011)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○										